

お か い

ちようなん

議会だより

第180号
2022
8



CONTENTS (主な内容)

- 令和4年第2回定例議会 2
- 議会全員協議会 3
- 6人の議員が町政を問う（一般質問） 4

今月号の表紙

令和4年6月10日に野見金公園で撮影しました。
偉くもきれいな花を咲かせる紫陽花（あじさい）は、この暑い夏に涼しさを感じさせてくれました。

●発行／千葉県長南町議会

●編集／広報特別委員会

●印刷／株式会社豊文堂

〒297-0192 千葉県長生郡長南町長南2110 TEL0475(46)3390
(議会事務局) <https://www.town.chonan.chiba.jp/chousei/gikai/>

第2回定例議会

全ての議案で
原案可決に

令和4年第2回定例議会は、6月8日に招集され、13日までの6日間の会期で開きました。この議会では、町長から提出された計8議案のほか、議員発議3件について審議し、原案のとおり可決しました。また一般質問は6人の議員が行いました。詳細については、4ページから掲載しております。

令和4年長南町議会第2回定例議会 議決結果

| 議案番号 | 件名 | 内容 | 議決の結果(※) |
|-----------|---|--|--------------------------|
| 承認 第1号 | 専決処分の承認を求めるについて (長南町税条例等の一部を改正する条例の制定について) | 地方税法等の一部を改正する法律が公布され、令和4年4月1日から施行されることとなったため、急施を要するものと認め、令和4年3月31日に専決処分をしたことに伴い、議会の承認を求めるもの | 承認 賛(11) 否(0) |
| 議案 第1号 | 長南町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について | 保険税負担の公平性の確保及び中低所得層の保険税の負担軽減を図る観点から、国民健康保険税の賦課限度額を見直すため、条例の一部を改正するもの | 原案可決 賛(10) 否(1) 和田 |
| 議案 第2号 | 工事請負契約の締結について | 防災行政無線親卓等の整備工事に伴う工事請負契約の締結をするため、議決を求めるもの 【相手方】スイス通信システム株式会社 【契約金額】1億1,660万円 | 原案可決 賛(10) 否(1) 板倉 |
| 議案 第3号 | 令和4年度長南町一般会計補正予算(第1号)について | 歳入歳出に4億7,215万円を追加、予算総額を56億9,715万円に (スケートボードパーク製作・設置等工事、物価高騰対応地域応援券発行事業 外) | 原案可決 賛(10) 否(1) 加藤 |
| 議案 第4号 | 損害賠償額の決定及び和解することについて | 給田地先で町道を走行中、道路内へ傾いていた視線誘導標と接触し、相手方の車両の左サイドミラーカバーが破損した事故に対し、過失割合による損害賠償額を決定し、和解をすることについて、議決を求めるもの | 原案可決 賛(11) 否(0) |

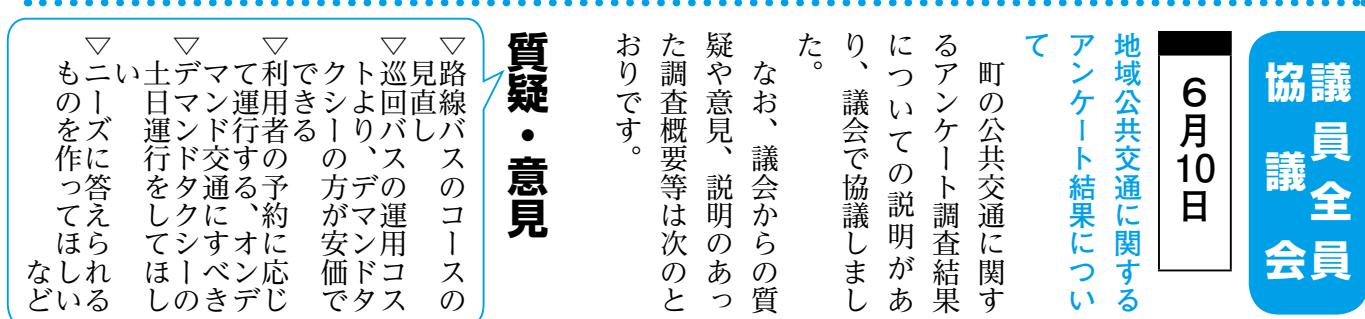
※議長は議事進行を行うため、採決に加わりません。現在の在職議員12名(議員定数13名)

《次ページへ》

令和4年長南町議会第2回定例議会 議決結果

| 議案番号 | 件名 | 内容 | 議決の結果(※) |
|-------|--|---|---|
| 議案第5号 | 副町長の選任につき同意を求めることについて | 副町長を、佐久間靜夫（さくましづお）氏に選任することに同意した 【任期】令和4年7月1日から 令和8年6月30日まで（4年間） | 同 意 賛(7) 否(3) 宮崎、板倉 和田 棄権(1) 加藤 |
| | 反対討論 副町長の選任に関して（板倉） 平野町長と同じく茂原市役所職員であったため選任に反対します。また、都市計画課の職が長期であったことから、副町長としてではなく、都市開発を早期に着手することに携わっていただき、特命課等の新設を提案をします。 | | |
| 議案第6号 | 固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて | 渡邊輝夫氏の任期満了に伴い、新たに石井豊（いしいゆたか）氏を固定資産評価審査委員会委員に同意した | 同 意 賛(11) 否(0) |
| 議案第7号 | 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求ることについて | 酒井栄子（さかいえいこ）氏の任期満了に伴い、引き続き同氏を人権擁護委員として適任と認めた | 適任と認める 賛(11) 否(0) |
| 発議第1号 | 長南町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について | 行政手続等の簡素化を推進し、事務作業の負担軽減と利便性の向上を図るため、条例で定める書類等の押印を省略するべく、条例の一部を改正するもの | 原案可決 賛(11) 否(0) |
| 発議第2号 | 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出について | 教育水準の維持向上と地方財政の安定をはかるため、内閣総理大臣のほか、政府の関係各所へ意見書を提出するもの | 原案可決 賛(11) 否(0) |
| 発議第3号 | 国における2023年度教育予算拡充に関する意見書の提出について | 必要な教育予算を確保するべく、内閣総理大臣のほか、政府の関係各所へ意見書を提出するもの | 原案可決 賛(11) 否(0) |

※議長は議事進行を行うため、採決に加わりません。現在の在職議員 12 名（議員定数 13 名）



● 調査概要

ここが聞きたい！

6人の議員が一般質問を行う



定例会の1日目及び2日目に一般質問が行われ、6人の議員が町政について質問しました。

件名について掲載いたします。

なお、一般質問は町政全般について、希望する議員が質問や提言を行うもので、制限時間は1人につき1時間です。

丸島 なか 議員

P5

- 地方創生臨時交付金について
- ★ 子育て交流館について
- 交通弱者対策について
- デマンドタクシー事業について
- L-Lブック導入について

河野 康二郎 議員

P6

- | | |
|--|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 地場産物使用促進事業を | <input type="checkbox"/> 朝食は |
| <input type="checkbox"/> 地場産物の使用は | <input type="checkbox"/> 黙食の活用を |
| <input type="checkbox"/> 製法とエコ・リサイクルから | <input type="checkbox"/> 食材費高騰の影響は |
| <input type="checkbox"/> 給食での食育は | |

和田 和夫 議員

P7

- | | |
|---|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 感震ブレーカーの設置について | <input type="checkbox"/> 小学校でのコロナ対策は |
| <input type="checkbox"/> インボイス制度の影響は | <input type="checkbox"/> 検査キットの扱いは |
| <input type="checkbox"/> 会員への支払いは | |
| <input type="checkbox"/> 盛土の総点検実施と対策は | |

加藤 喜男 議員

P8

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 茂原長南インター周辺の開発は | <input type="checkbox"/> ★ 新型コロナウイルス感染症について |
| <input type="checkbox"/> 給食用食材の価格上昇策は | <input type="checkbox"/> ★ 学校での国を守る教育について |
| <input type="checkbox"/> 広域水道事業の統合の状況は | <input type="checkbox"/> ★ グルメタウン化について |
| <input type="checkbox"/> ★ 小中学校の不登校について | |

板倉 正勝 議員

P9

- 人口減少への対策は
- 町有財産の売却は
- 過疎地域におけるまちづくり
- 無償貸付は

岩瀬 康陽 議員

P10

- 脱炭素社会実現のための取組は
- 脱炭素達成のための支援は
- ガス事業の脱炭素の取り組みは
- 多世代同居を推進する補助制度の新設を
- 独居高齢者用のシェアハウスの整備を

一般質問は、質問者本人の原稿をそのまま掲載しています。

□印の質問は掲載された質問ですが、★印は紙面の都合により掲載していません。
詳しくは、議会ホームページの会議録をご覧ください。

地方創生臨時交付金について

地域応援券事業を再度実施します

問 地域応援券事業の過去の実績や今後の事業内容、対象店舗等について伺います。

産業振興課長

令和2年度は1人1万円分を配布し、利用率は98・29%でした。令和3年度は5千円分を配布し、利用率は97・6%でした。

今回もコロナ禍及びウクライナ情勢に伴い、原油価格や物価高騰により、家計への負担が増加していることから、全町民へ1人1万円の地域応援券事業を再度実施します。

問 地域応援券事業の過去の実績や今後の事業内容、対象店舗等について伺います。

産業振興課長

令和2年度は1人1万円分を配布し、利用率は98・29%でした。令和3年度は5千円分を配布し、利用率は97・6%でした。

今回もコロナ禍及びウクライナ情勢に伴い、原油価格や物価高騰により、家計への負担が増加していることから、全町民へ1人1万円の地域応援券事業を再度実施します。

問 交通弱者対策について

巡回バスは小湊鉄道、タクシー事業者は町内の2つの事業者に協力店舗になっていただけるよう声かけをしていきます。

巡回バスは小湊鉄道、タクシー事業者は町内の2つの事業者に協力店舗になっていただけるよう声かけをしていきます。

問 デマンドタクシー事業について

シーや、平成24年から実証実験をし、平成25年にスタートしました。

シーや、平成24年から実証実験をし、平成25年にスタートしました。

問 L.L.ブック導入について

L.L.ブックとシーや、平成24年から実証実験をし、平成25年にスタートしました。

シーや、平成24年から実証実験をし、平成25年にスタートしました。

問 学校教育課長

学校では年間の予算是20万円と限られていますので、来年度以降に検討していきます。



丸島なか 議員

各世帯主に郵送する
のは9月中旬頃で、利
用期間は9月下旬から
翌年1月末までを予定
しています。

新聞代については町
内の新聞店が協力店舗
となっていたければ
利用可能です。

協議して判断する
ます。

令和3年度の実績は
利用者累計1,648
名で、利用料金15万2
千5百円、委託料は9
千1万7千円でした。

土曜日の運行を町は
どう考えているか伺い
ます。

協議して判断する
ます。

小・中学校の図書室等
に取り入れる考えはな
いか伺います。

れ、ワンコインで利用
でき、魅力的なので需
要が高まっており、土
曜日もぜひ運行してほ
しいという声があります。

公民館の図書室や
小・中学校の図書室等
に取り入れる考えはな
いか伺います。

知的障害のある人や、
文字を読んだり、本の
内容を理解することが
苦手な人でも易しく読
めるよう工夫されてい
ます。

地場産物使用促進事業を

生産者との合意形成が必要



河野康二郎 議員

地場産物使用は 問 用について伺い

給食所長

問 地場産物使用を進めるため、学校側と生産流通側の調整役として、仕組み作りを担うコーディネーターの配置と相互の協議する場を設

問 いて、学校給食所審議会で問題提起がされ、その後、審議が滞っています。紙パックかビンかの違いは、味製法の違いであり、味などへの影響や工口・リサイクルといった視点から考えていく必要があるものです。

今後の取り組みを伺います。

製法とエコ・リサイクルから

平均で千葉県産32・3%、長南産6・3%、地元産米の使用については、大規模農家や営農組合等と協議し進めいく考えです。

米は地元から 給食所長

小学校就学時や、健診時に保護者を対象に「朝食を中心の生活習慣」や、中学3年生に「受験期の食生活」について考える機会を持つな

生活習慣を学ぶ

給食での教育は、生活習慣を見直す取り組みとして、コンビニ食材を題材に食育を取り組んでいる中学校の例があります。

具体的な取り組みについて計画するなど、学校給食を活用した食育について伺います。

検討します

見直しが予防につながる、味覚教育やよく噛んで食べる習慣などの食育の視点から、黙食の効用を活用する考えがあるか伺います。

黙食の活用を 聞いて、食生活のコロナ禍にお

問
児童生徒の朝食についての調査と対応策について伺います。

ど、テーマに合わせて行っています。また、肥満の傾向があることから、生活習慣を食育の中で学ぶ取り組みを行っています。

本年度4、5月実績と昨年度を比較すると予算ベースで7%の増となっています。地方創生臨時交付金の活用を検討し、県の動向を注視して対応します。

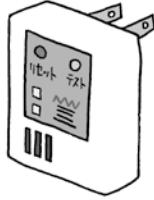
給食所長

食材費高騰の影響は 問 食材費高騰下 の給食費用への 影響、「地方創生臨時 交付金」の活用、また 県の給食費無償化（動 き）を学校給食向上に 活用する考えがあるか 伺います。

工夫をしたい 給食所長

感震ブレーカーの設置について

電気火災対策として、周知します



「感震ブレーカー」
イメージ



和田和夫 議員

| | | | | | | | |
|----------|---|----------|---|----------|--|----------|---|
| 問 | 感震ブレー カーは、地震の 際の電気機器からの出 火や、停電が復旧した ときに発生する通電火 災の発生を抑制する効 果があります。 | 答 | 中小企業数と農業 者数は計664件 令和2年度の事業繼 続支援助成で算定した 件数は、個人事業主を 含む中小企業数271 件、農業者393件、 計664件と推測して おり、個人で慎重に検 討してもらうしかあり ません。 | 問 | 個人事業主はど うですか、また免税 業者となるのか伺いま す。 | 答 | インボイス 制度の影響は 町の事業者や 個人事業主はど うですか、また免税 業者となるのか伺いま す。 |
|----------|---|----------|---|----------|--|----------|---|

| | | | | | | | |
|----------|---|----------|--|----------|--------------------------|----------|--|
| 問 | 会員への支払いは 全会員が免 税・減税のま では、消費税納税額も 会員に支払う報酬額が 仕入れ額控除ができな くなることから、シル 町では8か所の点検を行 いました。 | 答 | 千葉県では 2,898か所 で点検が行われたと聞 いていますが、町での 点検箇所数と場所、対 策について伺います。 | 問 | 盛土の総点検 実施と対策は 何ですか | 答 | 全国シルバー人材セ ンター事業協会におい て、対応策等が検討さ れており、その動向を みて近隣町村と調整し ます。 |
|----------|---|----------|--|----------|--------------------------|----------|--|

| | | | | | | | |
|----------|---------------|----------|--|----------|---|----------|---|
| 問 | 8箇所の点検を行いました。 | 答 | 学校教育課主幹 文書で通知には 連絡や通知はどうして いるか伺います。 | 問 | 小学校での 事、給食、部活 活動の現状と、父兄への 連絡や通知はどうして いるか伺います。 | 答 | バーチャル人材センターの会 員への支払いはどうな るのか伺います。 |
|----------|---------------|----------|--|----------|---|----------|---|

| | | | | | | | |
|----------|--|----------|---|----------|--|----------|---|
| 問 | 学校教育課主幹 文書で通知には 連絡や通知はどうして いるか伺います。 | 答 | 新型コロナウ イルス検査キッ トが大量に廃棄されて いることが全国的に問 題になりましたが、町 の検査キットの扱い と、数を伺います。 | 問 | 検査キットの扱いは どの手續が取られていな く、災害防止の措置が 確認できなかつた盛土 が市野々地先に1か所 ありました。 | 答 | バーチャル人材センターの会 員への支払いはどうな るのか伺います。 |
|----------|--|----------|---|----------|--|----------|---|

茂原長南インター 周辺の開発は

優先順位をつけて



加藤喜男 議員

状況をお聞きします。

企画政策課三幹

問 茂原長南インター周辺については町民に夢を与えるために、執行部の皆さんが地図を眺め、写真を眺め、現地に行ってどのようなことができるのか、夢の構想でも良いので町民に示していただければと思います。

町長は第1回の定例会において、「インター周辺についてはいくつかの企業に見ていただき、その面積が確保できなくて前に進んでいい」、「引き続いて希望する企業を探している」と語っておりました。



茂原長南インター周辺

給食用食材の価格上昇対応策は、毎年、年度初めには県の企業立地課へ出向き、長南町のPR、それとインター周辺には限らず、主に旧長南西部工業団地の計画跡地、それと上小野田地先にある空港代替地を中心にお業誘致という形で推し進めている状況です。

日本ではコメが100%自給できるわけで、小麦製品に替えてコメを大いに給食に使つていただくことをお願いするものです。が、給食用食材の価格上昇への対応策についてお聞きします。

給食所長 価格動向を注視しては、町と優先順位をつけて進めていく状況をお聞きします。



問 県内でも水道事業の統合が検討されている様ですが、宮城県では経営権の半分以上をフランス資本の民間に譲っていました。私は生活に直結する水道事業の民営化は反対です。

町長には広域の議会の状況も注視していましたが、もし将来に民営化の話がでた場合には反対の発言をしていただきたいと思います。

九十九里も施設が老朽化しているということです。令和6年までしつかり議論をして、メリット・デメリットを整理しながら統合に向けて準備していく段階です。

統合への準備段階



人口減少への対策は

交流人口の増加にも取り組む



板倉正勝 議員

問 移住者への
住宅問題及び空
き家対策として、高齢
化する農業関係者との
交流によるウクライナ
避難民の定住を図る考
えがあるか伺います。

企画政策課長
問 若者世代に町
に住んでいただ
くため、宅地造成を行
い、分譲するようなや
り方で、町有財産を売
却する考えがないか伺
います。

財政課長
問 適地がない
新規の宅地造成は適
地がない状況ですが、
今後、売却が可能な財
産が生じた場合は、人
口減少対策としての住
宅用地又は、地域の活
性化のための事業用地
での売却も検討してい
ります。

企画政策課三幹
問 長南町を売り込
んでいく
新規の宅地造成は適
地がない状況ですが、
今後、売却が可能な財
産が生じた場合は、人
口減少対策としての住
宅用地又は、地域の活
性化のための事業用地
での売却も検討してい
ります。



家活用は現在のところ
考えておりません。
宅地造成は、魅力的
な宅地開発を行える一
団のまとまりのある土
地がないことが現在の
課題と考えています。

町有財産の売却は
過疎地域における
まちづくり
問 長南町の安価
な土地による容
易な用地確保やイン
ター周辺を物流拠点と
して活用し、過疎脱却
を図る考えはあります
か。今後の人口減少・
過疎対策や将来的な狙
いや、どのようにまち
づくりを進めていきた
いと思うのか伺いま
す。

無償貸付は
過疎地域における
まちづくり
問 旧豊栄小学校
の学校事業が開
始し、生徒数6名が在
籍中との事ですが、今
後の学校運営に問題は
ないか伺います。
また、旧4小学校や
幼稚園の跡地、野見金
のカフェテラスの無償
貸与ではなく有償貸与
への切替え、売却によ
る町の収益増加や他市
町村における商業拠点
になりうる場所の検討
など、町民の目に見え
るような今後の方針を
伺います。

学事課にあり、経営者
側は様々な厳しい基準
をクリアして専門分野
となる千葉県サイドで
学校経営の許可をも
らっているので、問題
ないと認識しております。

脱炭素社会実現のための取組は

庁内で情報を共有し「出来ることから取り組む」



岩瀬康陽 議員

町は2050年までに温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにする、脱炭素社会の実現を目指すと世界に表明しています。

町は2050年までの脱炭素社会の実現に向けてどのように取り組んで行くのか伺いました。

まずは、本町の状態を調べていく

国は2050年までに温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにする、脱炭素社会の実現を目指すと世界に表明しています。

まず、本町の状態を調べていく

本町が脱炭素達成のための支援は

協会では、水素ガス事業の脱炭素の取り組みは

まずは、本町の現状を把握するため、二酸化炭素の排出量と森林等の吸収量を調査し、本町がどのような状態なのか、調べたいと考えています。

多世代同居を推進する補助制度の新設を

町の考え方と協調出来るよう検討

高齢者の孤獨・孤立を解消し、活き活きと安心して生活できるよう、独居高齢者用のシェアハウス等を整備すべきではないか伺います。

一つの住居に複数人が共同で暮らす賃貸物

建設環境課長

脱炭素への取組は、温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにすることが目標です。

も視野に入れ、ガス課では今後どのような方向で脱炭素に対して事業を進めていくのか、町の考え方や方向性と協調できるよう、検討

多世代同居により、若者夫婦が子育てと仕事を両立等が可能になりますので、若者定住促進事業の対象となるよう、関係課と調整して参りたいと考えています。

大気中に含まれる二酸化炭素やメタンなどの総称

まずは、本町の状態を調べていく

本町はガス事業の脱炭素にどのように取り組んでいくのか伺います。

本町はガス事業の脱炭素にどのように取り組んでいくのか伺います。

多世代同居により、若者夫婦が子育てと仕事を両立等が可能になりますので、若者定住促進事業の対象となるよう、関係課と調整して参りたいと考えています。

現在町は、空き家所有者の実態把握等に力を入れており、その中で高齢者を支援出来る空き家があれば、町が借り受ける方策も視野に入れて行きたいと考えています。

本町はガス事業の脱炭素にどのように取り組んでいくのか伺います。

本町はガス事業の脱炭素にどのように取り組んでいくのか伺います。

本町はガス事業の脱炭素にどのように取り組んでいくのか伺います。

多世代同居により、若者夫婦が子育てと仕事を両立等が可能になりますので、若者定住促進事業の対象となるよう、関係課と調整して参りたいと考えています。

多世代同居により、若者夫婦が子育てと仕事を両立等が可能になりますので、若者定住促進事業の対象となるよう、関係課と調整して参りたいと考えています。

本町が脱炭素達成のための支援は

本町はガス事業の脱炭素にどのように取り組んでいくのか伺います。

本町はガス事業の脱炭素にどのように取り組んでいくのか伺います。

多世代同居により、若者夫婦が子育てと仕事を両立等が可能になりますので、若者定住促進事業の対象となるよう、関係課と調整して参りたいと考えています。

多世代同居により、若者夫婦が子育てと仕事を両立等が可能になりますので、若者定住促進事業の対象となるよう、関係課と調整して参りたいと考えています。

本町が脱炭素達成のための支援は

本町が脱炭素達成のための支援は

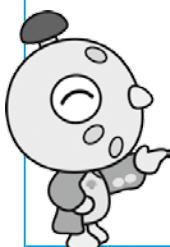
本町が脱炭素達成のための支援は

多世代同居により、若者夫婦が子育てと仕事を両立等が可能になりますので、若者定住促進事業の対象となるよう、関係課と調整して参りたいと考えています。

多世代同居により、若者夫婦が子育てと仕事を両立等が可能になりますので、若者定住促進事業の対象となるよう、関係課と調整して参りたいと考えています。

議長・議員が出席または 参加した主な行事

| | | [5月] | | | |
|------|-----|----------------------------------|----------------------------------|---------|--|
| 18日 | 17日 | 長生郡町村議会議長会臨時会（松野議長） | 南部地区議会道路整備協議会総会（松野議長） | | |
| 31日 | 30日 | 長生郡町村議会議長会定例会（松野議長） | 千葉県町村議会議長会定例会（松野議長） | 議会運営委員会 | |
| 31日 | 26日 | 長生郡市広域市町村圏組合 | 長生郡市広域市町村圏組合 | 臨時会 | |
| 24日 | | | | | |
| [6月] | | | | | |
| 27日 | 8日 | 第2回定例会（～13日） | 各常任委員会 | | |
| 27日 | 8日 | 長生郡町村議会議長会臨時会（松野議長） | 長生郡町村議会議長会臨時会（松野議長） | | |
| 13日 | 7日 | 長生郡市議員会定期総会 | 長生郡市議員会定期総会 | | |
| 4日 | | | | | |
| 22日 | | 議会広報特別委員会 | 議会広報特別委員会 | | |
| | | 3市3町議会議長連絡協議会定例総会・ 視察研修（松野議長） | 3市3町議会議長連絡協議会定例総会・ 視察研修（松野議長） | ～14日 | |
| | | 議会広報特別委員会 | 議会広報特別委員会 | | |



新型コロナウイルスにおける 感染予防対策をしてあります。



- 議員・職員・傍聴人のマスク着用
- アルコール消毒液の設置
- 換気の励行
- 議員・職員・傍聴人の検温の実施
- 飛沫防止用のアクリルパーテーションの設置
- 共用部分のアルコール消毒の強化



まつの
寿伸さん



佐藤さとう
理紗りささん

ちゅうなんの 若い力

特産品でもある「お米」や「ハス」は、家族みんなが大好きです。

また、子育て支援が手厚くて充実しているので、子供が3人いる私達家族は、とても感謝しています。

1人が根気強くウイルスと戦い、以前のような活気溢れる長南町へ戻れる日を信じて、これからも子供達と共に暮らしていけたらと思
います。

魅力ある住みよい活気溢れる町へ

ことはあまりありません。園
中央道もでき、むしろ色々な所
へアクセスしやすいかと思
います。

特に子育てをしている今、各助成など子育て支援に力を入れてくださっているので、とても助かっています。小学校は綺麗な校舎で設備も整っており、バス通学のため、安心して子どもを通わせることができます。長南町は、アットホームでとにかく自然いっぱいな町です。子供たちには自然いっぱいな場所で心豊かに、伸びと育つて欲しいので、そんな子育てにぴったりな町です。

アツトホームな町

ることに感謝です。

議会を傍聴して みませんか？

めんどうな手続きはありません。1人でも団体でも傍聴できますので、ぜひお越しください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人数制限する場合があります。

次回の定例議会は、
9月6日(火)から
開会の予定です。

長南町 公式 LINE

長南町の防災情報やテレビ等のメディア情報、イベント情報、議会の開催日程などを即時にお届けすることができる、長南町の公式LINEアカウントを開設しております！

右記のQRコードを読み取っていただき、ぜひ「友だち登録」をお願いします。



長南町議会広報特別委員会

発行責任者 松野唱平
委員長 宮崎裕一
副委員長 森川剛典
委員 加藤喜男
同 和田和夫
同 岩瀬康陽

先日、私が車を運転して交差点で停止していたときの出来事です。それは、交通量が多く幅が1m位の上り坂の歩道を、若者が自転車で上ってきたところ、ランニング中の若者が下つきました。私は、どうするのかなと注視していました、自転車の若者が自転車から降りて、ランニング中の若者に道を譲つてあげたのです。譲られた若者は、笑みを浮かべて軽く会釈をし、坂を下つていきました。なんと微笑ましい光景で、よう、私は思わず嬉しくなりました。

現代は、人間関係が希薄になり、生きづらいと感じ的人が多くいると思います。この若者のように、譲り合いの心を持てば、世の中にある大小の争い事も少なくなり、良好な人間関係を築けると思うのは私だけでしょうか。

編集のあとで